点検・整備チェックリスト

（販売店にチェック・記入を依頼してください）

✓：異状無し　A：調整、注油　△：修理　×：交換　C：掃除その他　ー：装着されていない部品

点検の箇所	点検項目	販売時	1回目 2か月	2回目 6か月	3回目 1年	4回目 1年半	5回目 2年	6回目 2年半	7回目 3年
フレーム・フロントフォーク	変形、折損、ヒビ割れは無いか	■							
	ヘッド、ハンガー小物にガタや摩耗は無いか	■							
ハンドル	固定は確実か、高さ、ハンドルステムの挿入量は適正か								
	変形、折損、軽く回転するか	■							
どろよけ	変形、取り付けは適正か	■							
キャリヤ	変形、ガタ、折損は無いか	■							
車輪	固定は確実か、フレーム、フロントフォークに接触していないか								
タイヤ	切傷、摩耗は無いか、空気圧は適正か								
リム	変形、振れは無いか	■							
スポーク	緩み、折れ曲がり、切損は無いか	■							
ハブ	ハブナットの緩み、玉押しのガタは無いか	■							
ギヤクランク	ギヤ板の振れ、ヒビ入り（軽合金）、曲がり、ガタは無いか、締め付けは十分か	■							
ペダル	固定は確実か、取り付け部（クランク側）にバリは無いか								
	軸の回転は正常か、変形、カシメ、ねじの緩み、ガタ、折損は無いか	■							
ブレーキ	利き具合は適正か								
	レバーの引き代に余裕はあるか、ワイヤ類にさびやほつれは無いか	■							
	ブレーキゴム類（ブレーキブロック、パッド、ライニング）の減りは無いか	■							
変速機	作動は確実か								
ベルト	ヒビ入り、歯欠け、折損は無いか、張りは適正か	■							
チェーン	油切れ、たるみは無いか、ギヤとの噛み合わせは適正か	■							
サドル	固定は確実か、高さ、シートポストの挿入量は適正か								
	取り付け位置、ガタ、損傷は無いか	■							
ライト	点灯、照射は正常か、破損は無いか、コード切れは無いか								
リフレクター	汚れ、ガタ、破損は無いか、点灯（テールランプ付）は正常か	■							
スタンド	作動は正常か、ガタ、変形、折損は無いか	■							
ベル・ブザー	作動は正常か、変形、緩みは無いか、よく鳴るか								
錠	作動は正常か、変形、緩みは無いか								
その他	各部のねじの緩み、損傷は無いか	■							
注油箇所	チェーン、ワイヤ、変速機、ブレーキレバー、スタンドの支点、バッテリーロックキー穴、錠前キー穴	■							
実施店　実施者氏名	実施日		年 ／	年 ／	年 ／	年 ／	年 ／	年 ／	年 ／	年 ／
保証書に印字されている品番および車体番号を転記してください 品番　車体番号	確認印		㊞	㊞	㊞	㊞	㊞	㊞	㊞	㊞

パナソニック サイクルテック株式会社
〒582-8501　大阪府柏原市片山町 13 番 13 号

© Panasonic Cycle Technology Co., Ltd. 2013-2014

NYT1426 G1013-2034

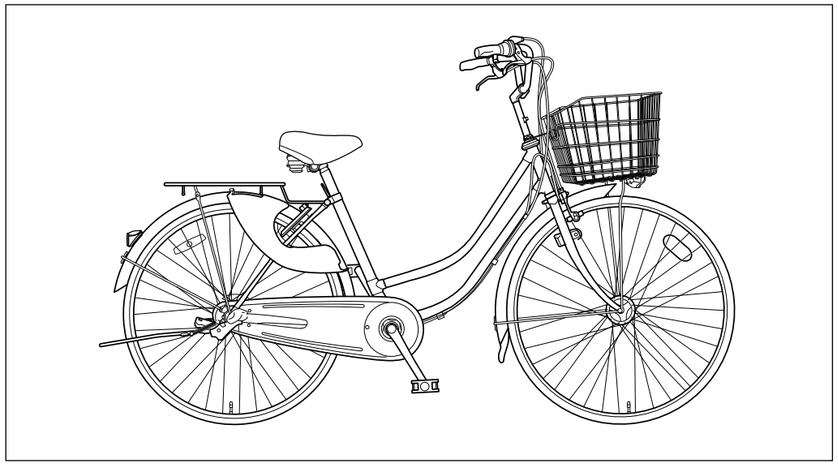
Panasonic

取扱説明書

一般用自転車

通学車シリーズ

品番 B-MWJW738
B-TFW633
B-TFW733



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。
●ご使用まえに「安全上のご注意」（2～7ページ）を必ずお読みください。
●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
●製品をほかの人に譲渡される場合は、この取扱説明書を一緒にお渡しください。
●お子様がお使いになる場合は、保護者の方がこの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しい乗りかたをご指導ください。

お願い

●この自転車は、通学、通勤、買い物などの日常生活用として設計されています。新聞配達など、業務用としてご使用にならないでください。
●安全のため、ヘルメットの着用をお勧めします。
●万が一の事故に備え、対人・対物賠償保険に加入されることをお勧めします。
●必ず、販売店で防犯登録の申請手続きを行ってください。（法令で義務付けられています。）

お知らせ

●この取扱説明書に記載のイラストは、イメージ図を使用しています。形状やデザインが、お買い上げいただいた自転車と異なる場合があります。
●本書は、B-TFW, MWJW 共通の取扱説明書です。本体や操作部のイラストなどは主に MWJW を使用しております。

保証書別添付

もくじ

乗るまえに
●安全上のご注意…… 2
●各部のなまえ…… 8
●乗るまえの点検と調整…… 10
●正しい取り扱い方法…… 16

必要なとき
●お手入れ／注油について…… 28
●保管／廃棄／運搬…… 30
●定期点検…… 31
●盗難補償…… 32
●自転車安全基準／BAAマーク／アフターサービス …… 33
●オプション（別売部品）…… 34
●仕様…… 35

安全上のご注意(1)

必ずお守りください

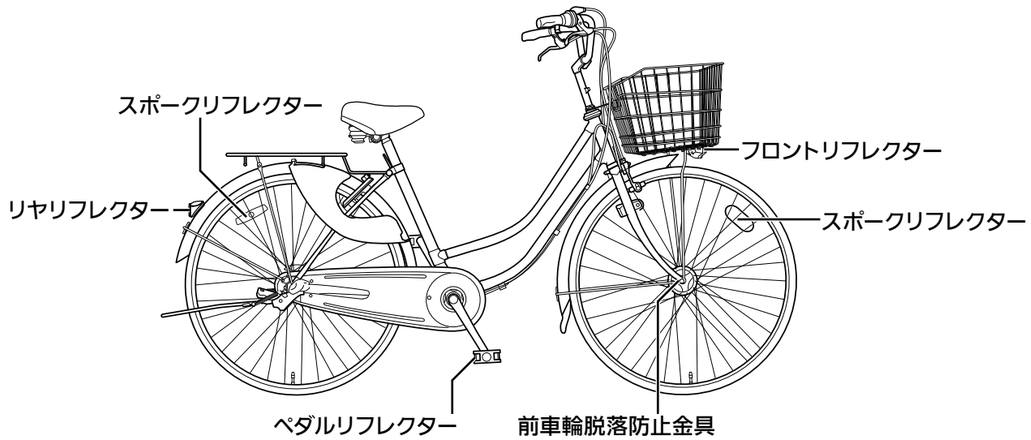
人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠ ✋	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。
⚠	気を付けていただく内容です。



⚠ 警告

■調整後の締め付けを確認せずに乗らない(車輪の脱着やサドルなど)

⃠ 禁止

車輪などが外れて、転倒によるけがのおそれがあります。

■ハブステップなどの突出物を装着しない

⃠ 禁止

歩行者などに、危害をおよぼすおそれがあります。

■改造や分解、また指定以外の注油はしない

⃠ 禁止

部品の破損や、ブレーキが利かなくなって転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

■安全装置は取り外さない

⃠ 禁止

外したまま使用すると、事故発生によるけがのおそれがあります。

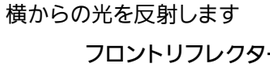
■サドルやハンドルは「はめ合わせ限界標識」が見える状態で乗らない

⃠ 禁止

サドルやハンドルの折れにより、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

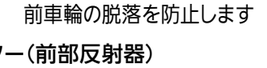
■安全装置

スポークリフレクター



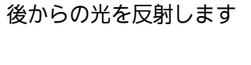
横からの光を反射します

前車輪脱落防止金具



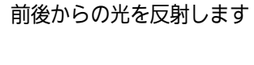
前車輪の脱落を防止します

リヤリフレクター
(後部反射器)



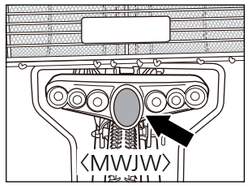
後からの光を反射します

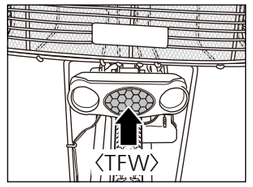
ペダルリフレクター



前後からの光を反射します

フロントリフレクター(前部反射器)





前からの光を反射します。

※リフレクターが破損した場合は、直ちに新品と交換してください。
(リヤリフレクターが破損したままでの夜間乗車は法令違反になります。)

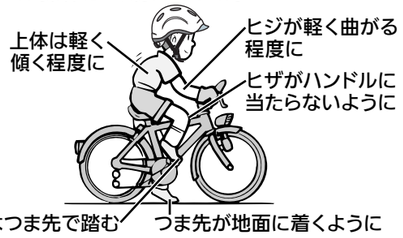
安全上のご注意(2)

必ずお守りください

■乗るまえに

まず体に合わせてください

●図のように販売店で調整してもらってください。
●操作して確認してください。
①円滑なペダリングができる。
②ブレーキや変速機が確実に操作できる。
③ハンドル操作が容易にできる。

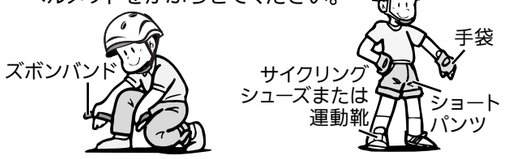


必ず点検をしてください

●必ず、取扱説明書をよく読んで点検してください。
●わからないときは販売店に相談してください。
●未組立および未調整の自転車は使用しないでください。

安全な服装で乗ってください

(車輪に巻き込まれやすい服装はしない)
●ズボンの汚れやチェーンへの巻き込み、ギヤへの引っ掛かりなどを防止するために、チェーンやギヤがむき出しの自転車に乗るときは、ズボンの裾をズボンバンドで止めてください。
●児童(13 歳未満の者)・幼児の保護者は、お子様が乗車するとき、必ずヘルメットをかぶらせてください。



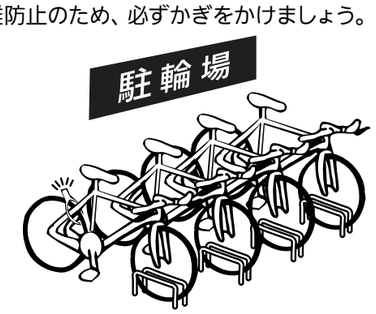
乗る練習は必ず行ってください

●練習を空地や公園など安全な場所で、行ってください。
●よく練習してから一般道路でお乗りください。

■乗ったあとは

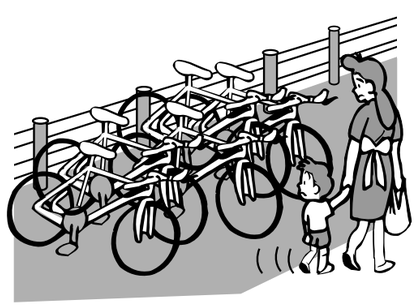
決められた場所に駐輪してください

●駐輪するときは、ほかの人に迷惑にならないよう、決められた場所に止めましょう。
●盗難防止のため、必ずかぎをかけましょう。



自転車放置禁止

●自転車の放置は、ほかの人に迷惑をかけるばかりでなく、環境悪化の原因となります。絶対に止めましょう。



■自転車の交通安全ルールを守りましょう

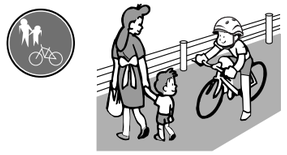
※違反すると、道路交通法の罰則を受けることがあります。

自転車は、車道通行が原則です

●歩道と車道の区別のある所は自転車は車道の左端に寄って通行しましょう。(路側帯がある場合でも、自転車の通行は道路の左側部分に設けられた路側帯に限定されます。)

次の様な場合は、歩道通行ができます

(そのときにも歩道は歩行者優先、車道寄りを徐行)
●自転車歩道通行可の標識などで指定されている場合。
●運転者が児童、幼児、70 歳以上の場合。
●車道や交通の状況から見てやむを得ない場合。

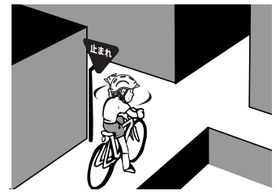


30 kg を超える荷物を積載しない

●ただし、自転車や取扱説明書などへ積載条件の記載がある場合はそちらを守ってください。

交差点では一時停止と安全確認を

●一時停止の標識を守り、広い道に出るときは、徐行と安全確認を。
●信号機がある場合は、信号を必ず守りましょう。

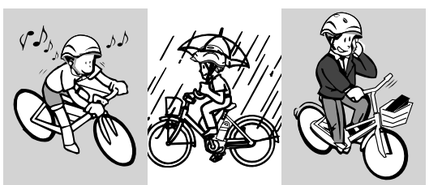


夜間やトンネル内、視界の悪いときは、ライトを点灯して通行しましょう

●夜の無灯火運転は交通違反です。
●暗い所ではライトをつけて通行しましょう。

次の様な運転はしない

●ヘッドフォンを使用しながらの運転。
●傘差し運転。
●携帯電話を操作しながらの運転。



2 人乗り、並進、飲酒運転は禁止

● 6 歳未満の子供をチャイルドシートに 1 人乗せる場合などを除き、2 人乗りは禁止です。(幼児 2 人同乗用自転車を除く)
●「並進可」標識のある場所以外は並進は禁止です。
●飲酒運転は禁止です。

安全上のご注意(3)

必ずお守りください

けがをせずに、ほかの人にも迷惑をかけないために、乗りかたや交通ルールを守りましょう。
安全のため、ヘルメットの着用をお勧めします。

交通事故を防ぐために

自動車や子供に注意！
安全を確認し、乗りましょう

車の横を走るときに！

開くドアや人の飛び出しに注意する

学校や公園が近くにあるときに！

子供の飛び出しに注意する

交差点を通るときに！

左折車に巻き込まれないように注意する

転倒事故を防ぐために

こんなとき

■雨・風・雪のひどいときは乗らない

禁止

バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

■合図以外は、ハンドルから手を離さない

禁止

バランスがとりにくく、転倒によるけがのおそれがあります。

こんな場所

■滑りやすい所では乗らない(積雪や凍結した道、鉄板やぬかるみなど)

禁止 スリップして、転倒によるけがのおそれがあります。

●降りて、押して歩いてください。

■凹凸の激しい所を走らない(歩道の段差や、溝など)

禁止 フレームや車輪の損傷や転倒によるけがのおそれがあります。

●降りて、押して歩いてください。

こんな乗りかた

■巻き込みやすいものを車輪やギヤに近接させて乗らない(長いスカートやマフラー、傘やペットのひもなど)

禁止

車輪やギヤに巻き込まれ、転倒によるけがのおそれがあります。

■傘やステッキ、釣りざおなどを車体に差し込んだり、釣り下げたりして乗らない

禁止

車輪に巻き込み、ほかの人や物にぶつけて事故や転倒によるけがのおそれがあります。

■土踏まずやかかとでペダルを踏まない

禁止

カーブでつま先が前車輪に当たり転倒によるけがのおそれがあります。

■滑りやすい靴や、かかとの高い靴、厚底靴などをはいて乗らない

禁止

ペダルから足が外れ、転倒によるけがのおそれがあります。

■手やハンドルに荷物をかけたり、ペットをつないだりしない

禁止

荷物やひもが、車輪に巻き込まれ、バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

■カーブで曲がる側のペダルを下げない

禁止

ペダルが地面と接触し、転倒によるけがのおそれがあります。

こんな使いかた

■走行以外に使わない(踏み台代わりなど)

禁止

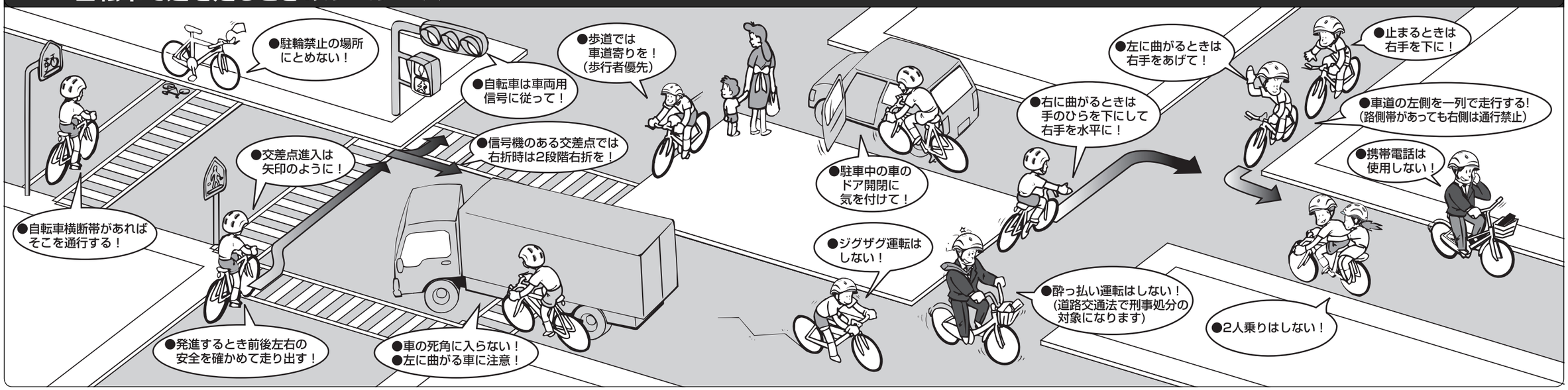
転倒によるけがのおそれがあります。

■スポークの間に固形物(ボールなど)を入れて走らない

禁止

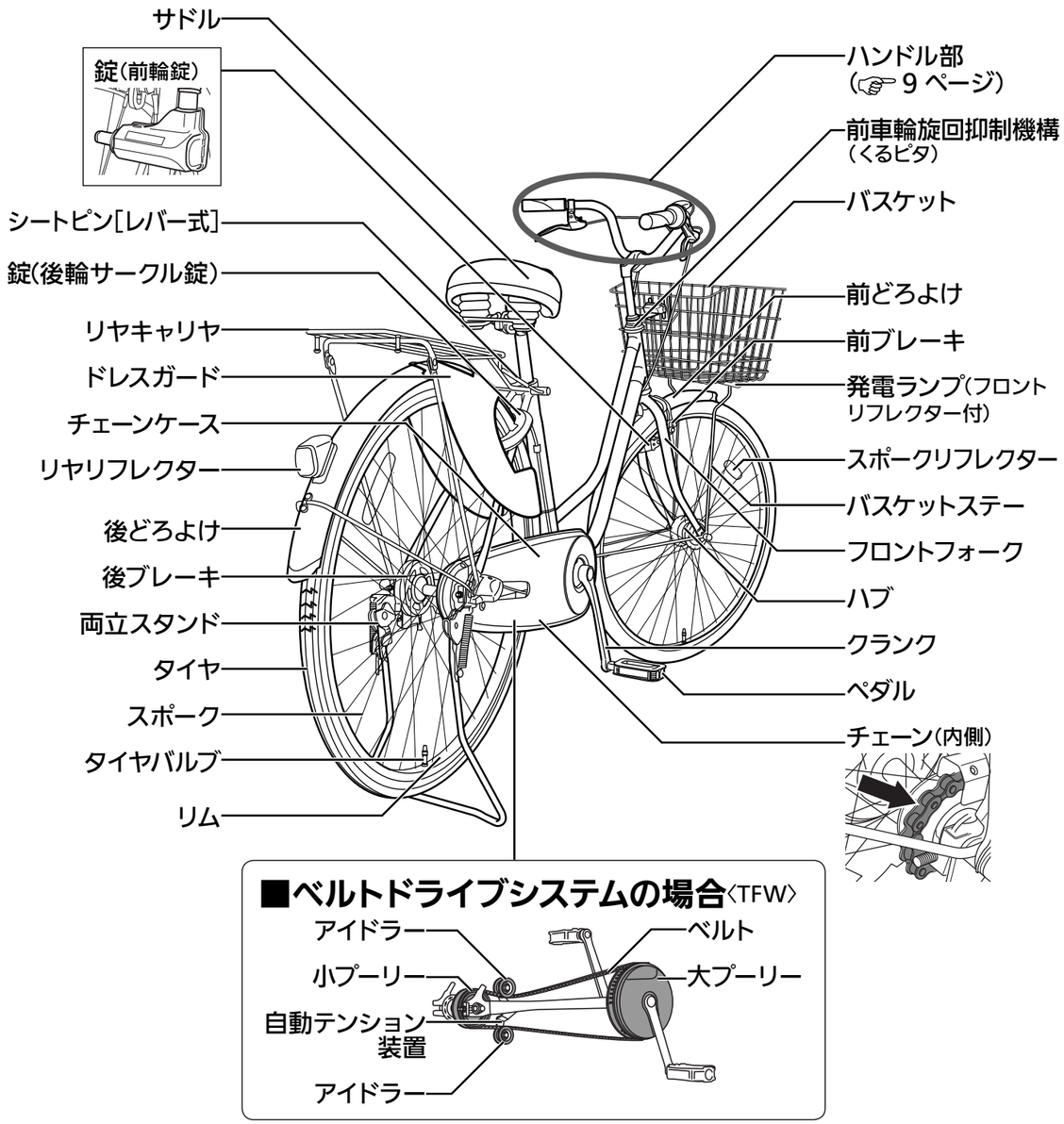
車輪に巻き込まれて転倒によるけがのおそれがあります。

自転車で道を走るときのルール・マナー



各部のなまえ

■チェーンモデル〈MWJW〉



■ベルトドライブシステムの場合〈TFW〉

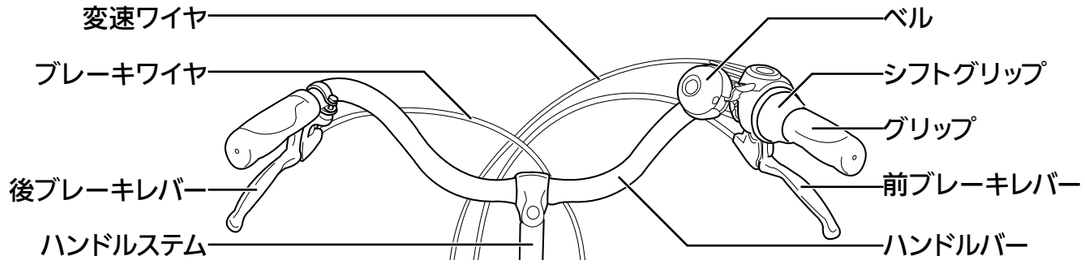
■付属品

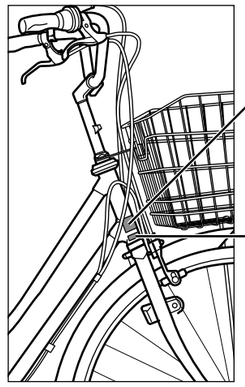
自転車本体のほかに下記のものがすべて含まれていることをご確認ください。

●キー(スペアキー 2 本)　●キー No. プレート(1 枚)
●取扱説明書　●保証書　●ご愛用者登録はがき(プライバシー保護シール付)

乗るまえに

■ハンドル部





■車種品番

●車種品番の見かた(例:B-MWJW738 の場合)

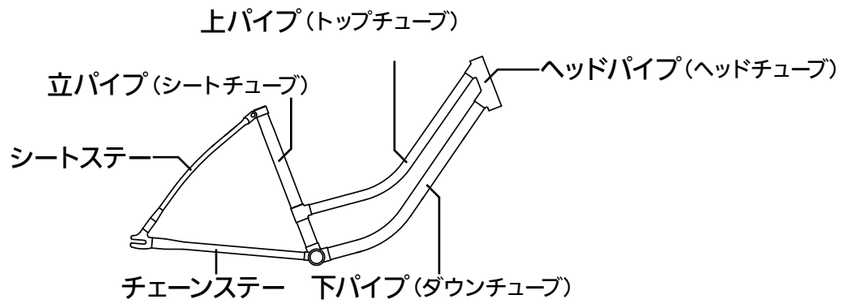
B-MWJW738 S2

車種品番　色

■車体番号(刻印位置右側)

防犯登録に必要で、9 文字(数字と英字) で表示しています。

■フレーム体の各部のなまえ



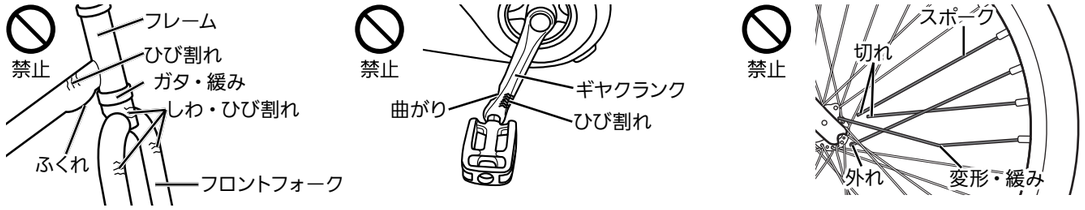
乗るまえの点検と調整(1)

日常、必ず実施する習慣をつけましょう。

安全にご乗車いただくため、乗るまえに次の点検、調整と走行テストを実施する習慣をつけましょう。

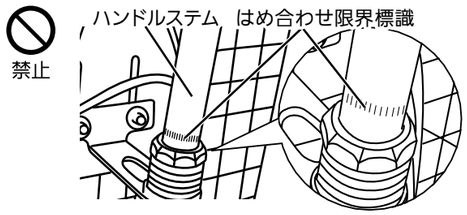
⚠警告

■各部にガタや緩みおよび、変形・ひび割れなどがあるときは乗らない



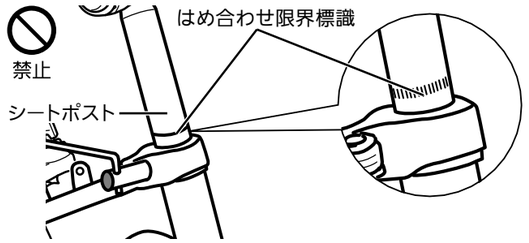
折れて転倒による、けがのおそれがあります。
●ひび割れや変形を見つけたら、すぐに乗るのを止めて、販売店で点検、交換をしてください。
●フロントフォークは衝突などの強い力を受けたとき、変形することによって乗員や車体への衝撃を和らげるように設計してあります。衝突や転倒など強い衝撃が加わったあとは、フロントフォークに変形やひび割れなどの異常が無いか点検してください。
●スポークが１本でも切れたまま使用を続けると、ほかのスポークに負担がかかり寿命が短くなります。切れ・変形・緩みのあるスポークは直ちに交換してください。できれば、すべてのスポークを交換されることをお勧めします。
●ハンドルを締め付けてもガタ・緩みがあるときは、すぐに乗るのを止め販売店で点検をしてください。

■ハンドルステムのはめ合わせ限界標識が、見えるまで上げない



ハンドルステムが折れて転倒による、けがのおそれがあります。
●ハンドルの高さ調整は、販売店にご相談ください。

■シートポストのはめ合わせ限界標識が、見えるまで上げない



シートポストが折れて転倒による、けがのおそれがあります。

■乗るまえの点検は、必ず実施する

事故や転倒によるけがのおそれがあります。
●前後ブレーキの利き、作動の点検をしてください。
●ハンドル・ハンドルステムが、確実に固定されているか点検してください。
●前後車輪が、確実に固定されているか点検してください。
●前後タイヤの空気圧が適正か点検してください。
●ワイヤ類（ブレーキ、変速機など）がたるんだりさびたりしていないか確認してください。

■点検で変形や曲がり、ひび割れなどの異常があったときは乗らない

事故や転倒によるけがのおそれがあります。
●異常があったときは販売店にご相談ください。

禁止

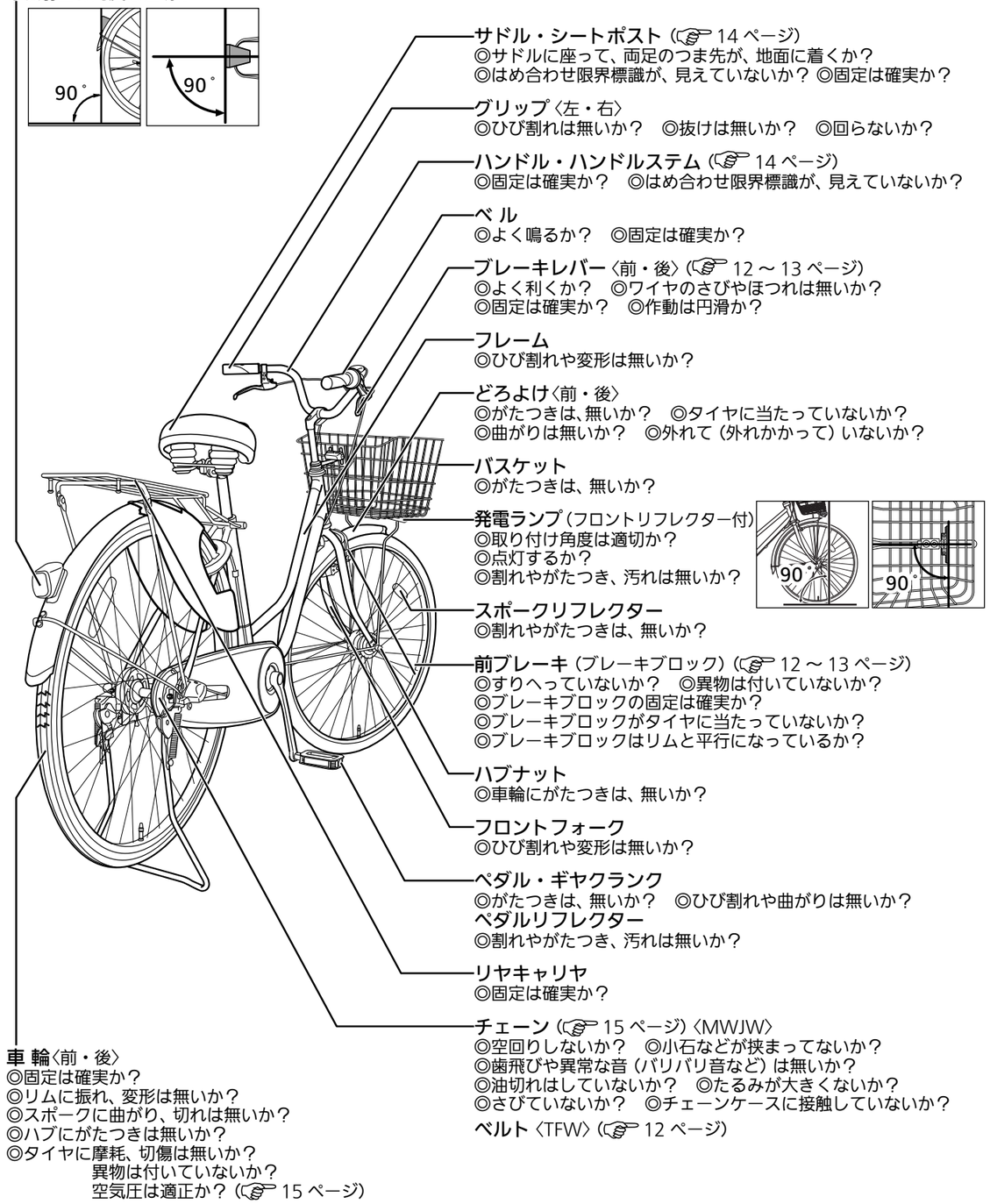
■次のような乗車はしない〈ベルトドライブシステムの場合〉

禁止

●プーリーとベルトの間に、砂など異物が入ったまま長時間の乗車
●２人乗りや、制限重量以上での乗車
●カッターナイフなどでいたずらされたあとの乗車
●ライターなどで火を近づけられたあとの乗車

ベルトが損傷し、寿命が短くなり切損し、転倒によるけがのおそれがあります。

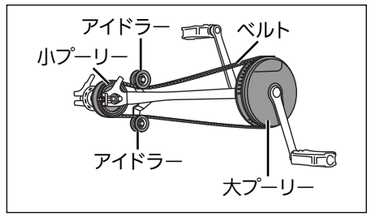
■自転車部品の点検



乗るまえの点検と調整(2)

わからないときは、販売店にご相談ください。

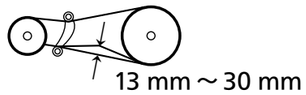
■ベルトモデルの点検〈TFW〉



◎歯飛びや異常な音（バリバリ音など）は無いか？
（ベルト／プーリー／アイドラー）
◎泥や砂利などがつまっていないか？
◎傷、歯欠け、ひび割れなどは無いか？
◎ベルトのたわみは適正か？

●ベルトのたわみの確認方法

ベルトの下側を押し上げて、13 mm ～ 30 mm あれば適正です。



お知らせ

●ベルトは雨などがかかることにより、水分を含み、縮む性質があります。
たわみ量が小さくなるとペダル回転に負荷がかかり、重くなります。

■ブレーキの点検（応急調整後の再点検・再調整は販売店に依頼してください）

⚠ 警告

■ブレーキレバーの遊びが大きいままや、小さいままで走行しない

禁止

ブレーキが利かなくなったり、利き過ぎたりすることがあり、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。
●ブレーキが利かないときやブレーキレバーの遊びが不適切なときは、すぐに販売店で点検を受けてください。

■ロックナットは確実に締め付ける

ブレーキの調整が狂い転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

■ローラーブレーキグリスの補給には、必ずローラーブレーキ専用グリスを使用する

制動力が低下し、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。
●補給する目安は 1 回約 5 g です。販売店でローラーブレーキ専用グリス（当社品番:NBP002）を補給してください。

■音鳴りがしたり、ブレーキが利き過ぎたりする場合は使用しない

禁止

転倒や衝突によるけがのおそれがあります。
●すぐに販売店で点検を受けてください。

⚠ 注意

■走行直後は、ブレーキ部に手を触れない

接触禁止

ブレーキ部が高温になり、やけどの原因になります。

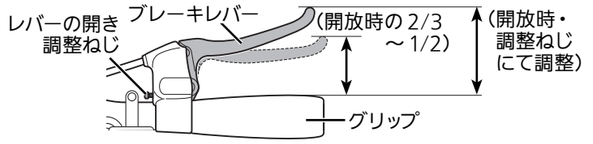
お知らせ

●平成 25 年 12 月 1 日より、制動装置（ブレーキ）に不備のある自転車と認められる自転車が運転されているときは警察官が停止させ検査ができるようになりました。停止や検査を拒んだり、運転継続禁止命令に従わなかった場合は罰金が科せられる場合があります。

※下記はブレーキの調整ねじを使用した応急的な調整方法です。販売店でブレーキワイヤを張り直すなど、点検・再調整を行ってください。

●ブレーキレバーとグリップの間隔

ブレーキレバーとグリップの間隔は、開放時の 2/3 ～ 1/2 の位置で、ブレーキが利きだすように、調整する。



お願い

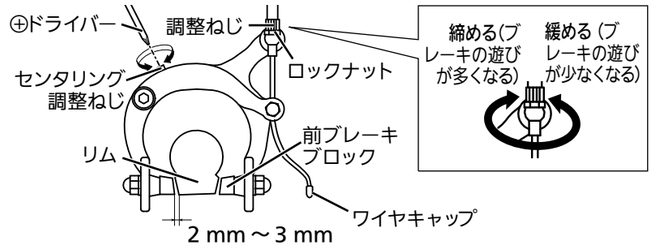
●上記の調整範囲は目安です。調整後は必ずブレーキテストをしてください。

お知らせ

●レバーの開き調整ねじの無い機種もあります。

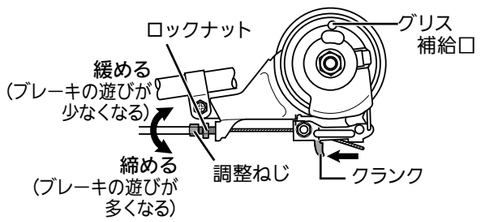
●前ブレーキ

①ロックナットを緩める。
②調整ねじを回す。
③センタリング調整ねじで、リムと前ブレーキブロックのすき間が左右均等になるように調整する。
④走行してブレーキの利きを確認する。
⑤調整ねじが緩まないよう、ロックナットを適正締付トルクで締め付ける。
締付トルク：1 N･m～2 N･m {10 kgf･cm～20 kgf･cm}



●後ブレーキ（ローラーブレーキ）

①ロックナットを緩める。
②クランクを押しながら、調整ねじを回す。
③ブレーキの利きを確認する。
④調整ねじが緩まないよう、ロックナットを適正締付トルクで締め付ける。
締付トルク：1 N･m～2 N･m {10 kgf･cm～20 kgf･cm}



お願い

●確実な制動力を得るために、通常 1 ～ 2 年に 1 回程度は販売店でローラーブレーキ専用グリスを補給してください。
●ブレーキ調整が不適切な場合、ブレーキが利き過ぎたり、逆に利かなかったりすることがあります。また、使用によるなじみや摩耗で、ブレーキの利き具合が変わります。ブレーキが利きにくい場合は、販売店で点検を受けてください。

乗るまえの点検と調整(3)

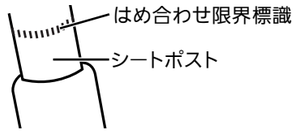
わからないときは、販売店にご相談ください。

■サドルの調整

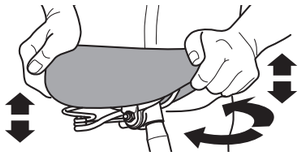
⚠ 警告

■はめ合わせ限界標識が見えるまで上げない

禁止



■調整後は必ずがたつきやずれが無いか点検をする

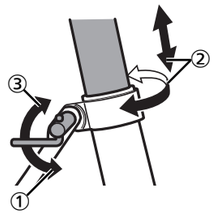


シートポストが折れ固定が不安定になり、転倒によるけがのおそれがあります。

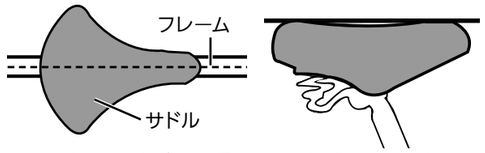
●サドル抜け防止機構の付いている機種では実際には上図のように、はめ合わせ限界標識線が見えないものもあります。

●高さと向きの調整

①レバーを緩める。
②サドルの高さと向きを調整する。
③レバーを締める。
④がたつきやずれが無いことを確認する。



●サドルの正しい方向と角度



フレームと平行に合わせる。　サドルの上面と地面を平行にする。

お願い

●角度の調整は販売店にご相談ください。

お知らせ

●サドル抜け防止機構のため、サドル(シートポスト) を引き抜くことはできません。

●直付サドル(オプション) ご使用の場合

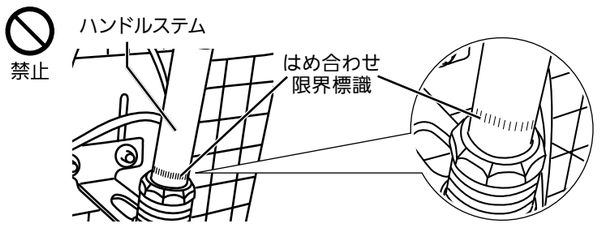
直付サドルをご使用の場合、レバーを回転させにくいため、レバーをナットに交換して組み付けてください。

■ハンドルの高さ調整(販売店に依頼してください)

⚠ 警告

■ハンドルステムのはめ合わせ限界標識が見えるまで上げない

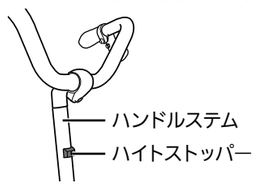
禁止



ハンドルステムが折れて転倒し、けがのおそれがあります。

■ハンドルステムのハイトストッパーを外して、ハンドルステムを一番下まで下げない

禁止

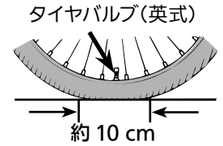


固定が不完全になる場合があり、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

■空気圧の調整(前後のタイヤ)

●適正な空気圧

自転車に乗った状態で接地部の長さが、約 10 cm が、適正です。
圧力計の付いたポンプでは、空気圧の測定が可能です。
300 kPa ～ 400 kPa{3.0 kgf/cm^2 ～ 4.0 kgf/cm^2} が適正です。



お知らせ

●長期間使用しない場合は、空気圧は自然に減ります。
●タイヤバルブの型式は、英式です。

お願い

●上記の空気圧は体重 65 kg 程度の方が乗車された場合の適正な空気圧です。体重の重い方は、通常より高い空気圧 400 kPa ～ 450 kPa{4.0 kgf/cm^2 ～ 4.5 kgf/cm^2} にて使用してください。

●空気の入れかた

自転車用のポンプを使って空気を入れます。

■タイヤについて

⚠ 警告

■パンクしたまま走行しない

禁止

ハンドルがとられ、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

お願い

●走行まえにタイヤに異物が刺さっていないか点検してください。パンクやタイヤ・リムを損傷する原因になります。
●タイヤの空気圧は 300kPa{3.0kgf/cm^2} 未満では使用しないでください。タイヤのひび割れ、偏摩耗やパンクの原因になります。
●ストーブなどの熱源の近くに置かないでください。
●ガソリン・有機溶剤・油類が付着したときは、すぐにふき取ってください。

■チェーンの調整(販売店に依頼してください)〈MWJW〉

⚠ 警告

■チェーンがたるんだまま走行しない

禁止

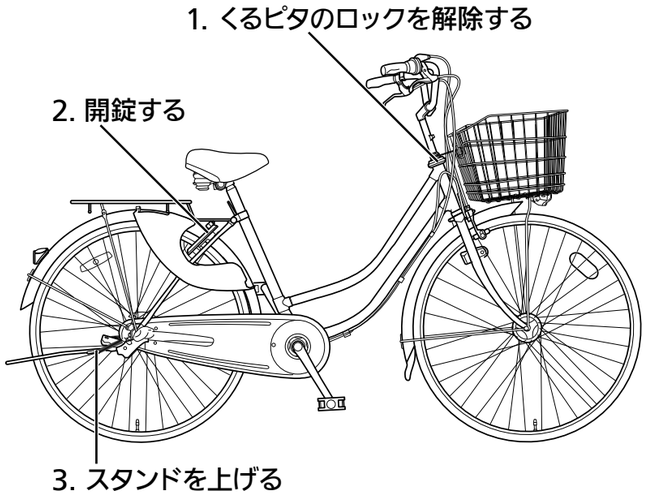
チェーンのたるみが大きくなると、走行時にチェーンが外れやすくなり、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

正しい取り扱い方法(1)

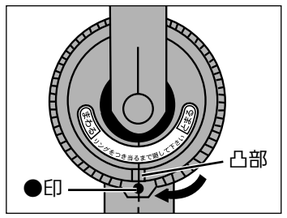
わからないときは、販売店にご相談ください。

■前車輪旋回抑制機構（くるピタ）について

●乗車時



1



●くるピタの特長 「くるピタ」は駐輪するとき（特に坂道や、バスケットに荷物を入れた場合）のハンドルのふらつきや回転を防止します。

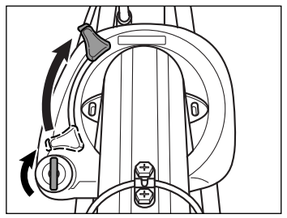
くるピタの、リングの赤い●印を時計方向（まわる）側）に回し、凸部と●印が合っていることを確認する。
（ハンドルがスムーズに回ります。）

⚠ 警告

■くるピタをロックして乗車しない
■くるピタの位置を確認せずに乗らない

禁止 転倒によるけがのおそれがあります。

2



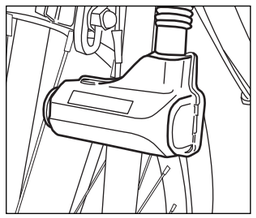
後輪サークル錠を、開錠する。

お願い

●詳しい開錠方法は、20 ページをご覧ください。

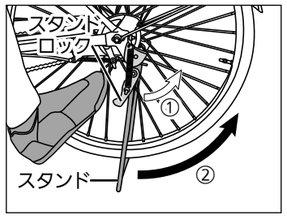
お知らせ

●走行時は、後輪サークル錠にキーが付いたままになります。



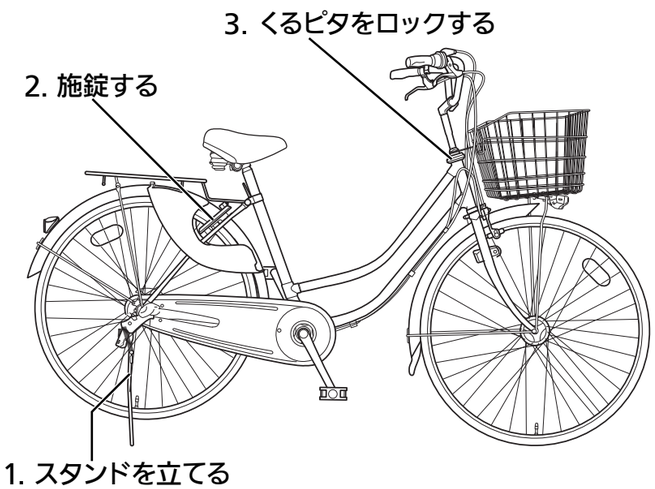
前輪錠の開錠を確認する。

3

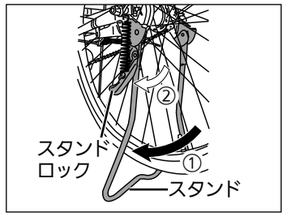


スタンドロックを解除し、スタンドを後方へ完全に跳ね上げる。

●駐輪時

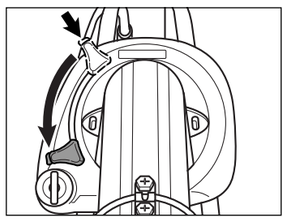


1



スタンドを立て、スタンドロックをかける。
（オートロックの場合は自動的にロックがかかります。）

2



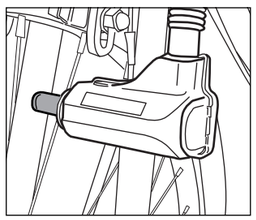
後輪サークル錠を、施錠する。

お願い

●詳しい施錠方法は、20 ページをご覧ください。

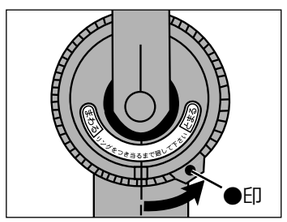
お知らせ

●駐輪時は、後輪サークル錠からキーを抜き取り、携帯します。



前輪錠の施錠を確認する。

3



くるピタの、リングの赤い●印を反時計方向（とまる）側）に回らなくなるまで回し、ロックする。（ハンドルの回転が抑制されます。）

お知らせ

●リングを反時計方向（とまる）側）に回しても止まらない場合は、ハンドルを少し動かしながらリングを回し、止めてください。
●回転方向に強い力を加えると、『カチッカチッ』と音がしてハンドルは回転します。

⚠ 警告

■くるピタをロックした状態で、無理なハンドル操作を行わない

禁止 くるピタが壊れて、ハンドルが固定され転倒によるけがのおそれがあります。

■発電ランプの取り扱い（スリム 6-LED ビームランプ）〈MWJW〉

⚠ 警告

■発電ランプの取り付けが緩んだまま、走行しない

禁止 前方を照らす角度が狂い、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。
●乗るまえに点検してください。

■夜間や視界の悪いときは点滅状態や無灯火で乗らない

禁止 衝突や転倒によるけがのおそれがあります。
●ランプがつかないときや点滅状態のときは、押して歩いてください。無灯火や点滅状態での夜間乗車は法令違反になります。

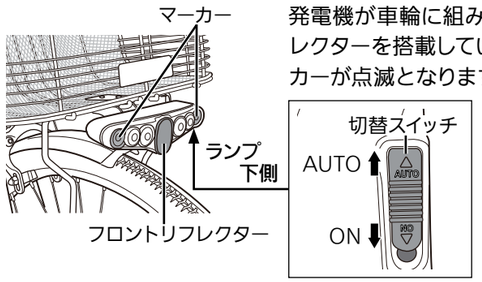
■走りながら、切替スイッチの操作をしない

禁止 衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

■目に光を当て続けない

禁止 目を痛める原因となります。

●スリム 6-LED ビームランプの特長



発電機が車輪に組み込まれているハブダイナモ式発電ランプで、LED とフロントリフレクターを搭載しています。LED が点灯状態 5 分走行で停止後 3 分程度、左右マーカーが点滅となります。（走行速度によって点滅時間は変わります。）

・切替スイッチ AUTO…センサーが周囲の明るさを感知して自動的に点灯し、停止すると消灯します。

・切替スイッチ ON……昼夜を問わず走行時は常に点灯します。

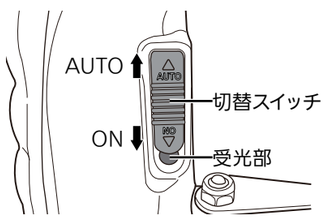
お知らせ

●内部の LED は交換できません。

お願い

● LED を無理に取り外したり、分解したりしないでください。本体が壊れる原因になります。
●故障したときは、販売店にご相談ください。

●点灯確認のしかた



切替スイッチを ON にし、前車輪を回転して点灯することを確認してください。
確認後は、お好みに応じて切替スイッチを AUTO にしてください。

お願い

●切替スイッチが AUTO の場合、受光部が汚れたときは、柔らかい布でふき取ってください。受光部が汚れていますと、センサーが誤作動を起こす場合があります。

●照らす位置

お願い

●角度の調整は販売店にご相談ください。
●対向者にまぶしくならない角度に調整してください。

■発電ランプの取り扱い（ツイン LED ビームランプ）〈TFW〉

⚠ 警告

■発電ランプの取り付けが緩んだまま、走行しない

禁止 前方を照らす角度が狂い、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。
●乗るまえに点検してください。

■夜間や視界の悪いときは点滅状態や無灯火で乗らない

禁止 衝突や転倒によるけがのおそれがあります。
●ランプがつかないときや点滅状態のときは、押して歩いてください。無灯火や点滅状態での夜間乗車は法令違反になります。

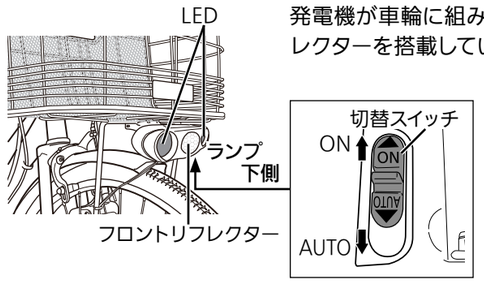
■走りながら、切替スイッチの操作をしない

禁止 衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

■目に光を当て続けない

禁止 目を痛める原因となります。

●ツイン LED ビームランプの特長



発電機が車輪に組み込まれているハブダイナモ式発電ランプで、LED とフロントリフレクターを搭載しています。

・切替スイッチ AUTO…センサーが周囲の明るさを感知して自動的に点灯し、停止すると消灯します。

・切替スイッチ ON……昼夜を問わず走行時は常に点灯します。

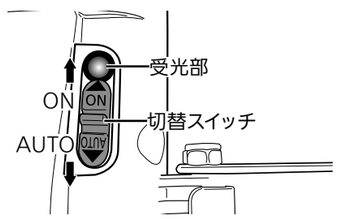
お知らせ

●内部の LED は交換できません。

お願い

● LED を無理に取り外したり、分解したりしないでください。本体が壊れる原因になります。
●故障したときは、販売店にご相談ください。

●点灯確認のしかた



切替スイッチを ON にし、前車輪を回転して点灯することを確認してください。
確認後は、お好みに応じて切替スイッチを AUTO にしてください。

お願い

●切替スイッチが AUTO の場合、受光部が汚れたときは、柔らかい布でふき取ってください。受光部が汚れていますと、センサーが誤作動を起こす場合があります。

●照らす位置

お願い

●角度の調整は販売店にご相談ください。
●対向者にまぶしくならない角度に調整してください。

正しい取り扱い方法(3)

わからないときは、販売店にご相談ください。

■ 錠について（ガチガチロック）

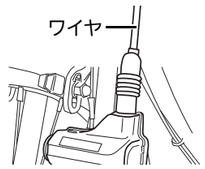
⚠ 警告

■長いキーホルダーを付けない

禁止 車輪などに巻き込んで転倒によるけがのおそれがあります。

■走行中にワイヤを引っ張らない

禁止



前輪がロックされ、転倒によるけがのおそれがあります。

■走行中に作動しない

禁止 前輪や後車輪がロックされ、転倒によるけがのおそれがあります。

⚠ 注意

■開錠時、ツマミに指を近づけない

禁止 衝撃でけがをするおそれがあります。

●ガチガチロックの特長

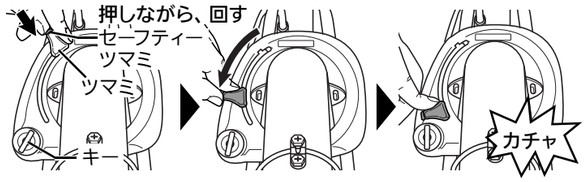
後輪サークル錠を操作すると前輪錠が同時に施錠・開錠いたします

お願い

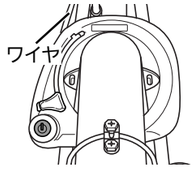
- キーは、紛失しないよう大切に保管し、キー番号は控えておいてください。（保証書にキー番号が記載されていますが、本取扱説明書 39 ページのキー番号欄に記入しておかれることをお勧めします。）
- ●キーを紛失された場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。その際には、保証書とキー番号が必要ですので、必ずご持参願います。（保証書にキー番号が記載されています。）
- ●キーを差した状態で上下に強く押さないでください。（キーが曲がり、操作できなくなります。）

●施錠方法

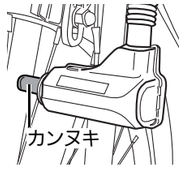
①セーフティーツマミを押しながら、「カチャ」と音がするまで下に回す。



②キーを抜く。



③前輪錠が施錠されていることを確認する。



お願い

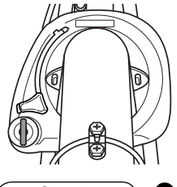
- ●前輪錠のカンヌキがスポークに当たり、施錠しにくい場合は自転車を前後に少し動かして施錠してください。

お知らせ

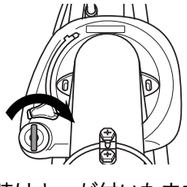
- ●ツマミ操作力は一般の錠より少し重くなります。確実に開錠するためのバネの反力ですので、故障ではありません。

●開錠方法

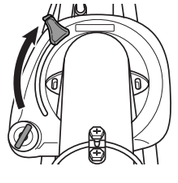
①キーを差し込む。



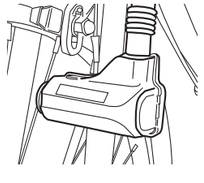
②キーを時計方向に回す。



③ツマミは自動的に上へ戻り、キーはキー穴から抜けなくなる。



④前輪錠が開錠されていることを確認する。



お知らせ

- ●開錠時はキーが付いたままになります。
- ● 冬期にサークル錠シリンダー内に入った水分が凍結し、一時的に開錠できなくなることがありますが、水分がとけると開錠できます。

■リヤリフレクター（ソーラーオートテール 2）について

⚠ 警告

■ボタン電池は次のような使いかたをしない

禁止

- ●充電器などで充電しない
- ●電池を火の中に投入しない
- ●電池をショートさせない
- ●電池の ⊕⊖ を逆にして使用しない

使いかたを誤ると、電池が発熱・液漏れ・破裂によるけがのおそれがあります。

●「ソーラーオートテール 2」の特長

走行中に周囲が暗くなるとセンサー機能により自動で点滅し、停止すると消灯します。停止後も約 1 分間、点滅し続けます。

●太陽電池について

この「ソーラーオートテール 2」は太陽電池で内蔵する電池を充電します。ご使用のまえに絶縁シートを取り外してください。

●お手入れ

レンズに付いた汚れはこまめにふき取ってください。レンズの汚れがひどい場合は、水もしくは中性洗剤の水溶液が浸み込んだ布でふき取ってください。

お知らせ

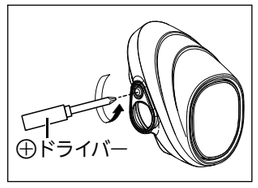
- ●太陽電池部を覆ったり、暗い所へ自転車を置いたりした場合、充電できずに自動点滅しない場合があります。このようなとき、蓄えた電力量を使い切る深放電が繰り返され、極端に電池寿命が短くなることがあります。
- ●レンズの汚れがひどいと光センサー受光部に光が届きにくくなるため、明るい昼間でも、点滅することがあります。また、太陽電池の充電効率も悪くなります。
- ●内部の LED は基板直付けのため交換はできません。

お願い

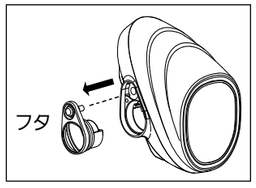
- ●絶縁シートの取り外し後、直射日光下で約 2 時間充電してください。

●ご使用になるまえに（絶縁シートの取り外し作業が必要です。わからないときは、販売店にご相談ください。）

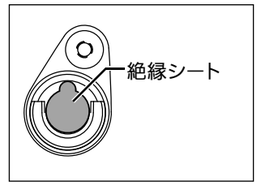
①プラスドライバーでねじを緩める



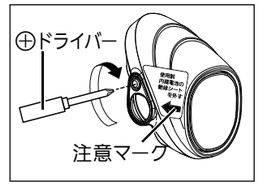
②フタを引き抜く



③絶縁シートをはがす

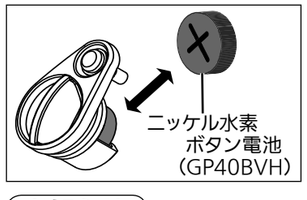


④ねじを締め付け、注意マークをはがす

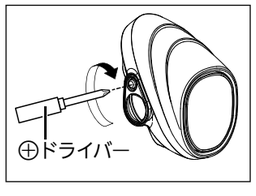


●充電池の交換方法（上記①～②は同じ手順です。）

③充電池を交換する（⊕表示をフタ側にして装着する）



④ねじを締め付ける



締付トルク：0.2 N･m～0.3 N･m
{2 kgf･cm～3 kgf･cm}

お願い

- ●取り替えた電池は、販売店かリサイクル協力店へお持ちください。

お知らせ

- ●連続点滅時間は、約 8 時間（直射日光下 2 時間放置後満充電時、連続点滅）となっておりますが、ご使用の状況により、変わる場合があります。（曇りまたは雨の日でも充電は可能ですが充電効率が低くなります）
- ●充電池の寿命は、約 2 年が目安となっておりますが、ご使用の状況により、変わる場合があります。

正しい取り扱い方法(4)

わからないときは、販売店にご相談ください。

■ブレーキのかけかた

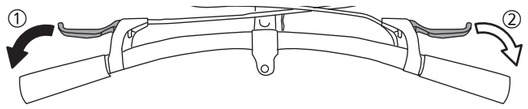
⚠ 警告

■雨天時や下り坂ではスピードを出さない

禁止 制動距離が長くなったり、スリップしやすくなったりするため、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

■前ブレーキだけを強くかけない

禁止 車輪がロックし、自転車が前方に転倒によるけがのおそれがあります。



①後ブレーキを先にかけてから
②前ブレーキをかける。

お願い

●急な坂道のときは、降りて押してください。
●下り坂のときは、適時ブレーキをかけながら速度が出すぎないように走行してください。
●下り坂の手前では、ブレーキテストを行ってください。
●急ブレーキをかけなくてもよいように、いつも前方に注意してください。

■変速のしかた

⚠ 警告

■スピードをだしすぎない

標準常用速度
10 km/h ～20 km/h

禁止 衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

■一度に 2 段変速しない

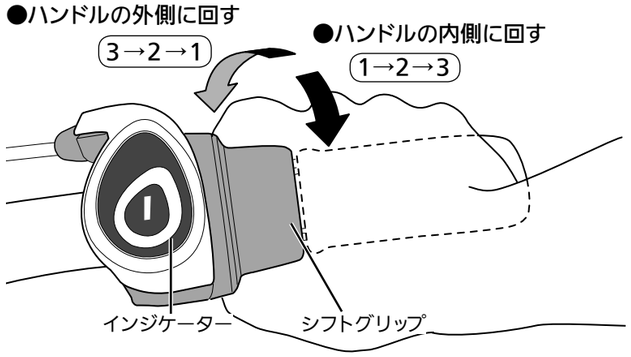
禁止 一気に変速すると、ショックが大きく、転倒によるけがのおそれがあります。
●１段ずつ変速してください。

■ペダルを踏み込みながら変速しない

禁止 変速操作に対し、実際のギヤの切替が遅れ、バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

●ハンドルの外側に回す
3→2→1

●ハンドルの内側に回す
1→2→3



変速位置	ペダルの回転が	
	軽くなる	重くなる
1	↑	
2		
3		↓

お知らせ

●シフトグリップを操作すると、位置決めの軽い手ごたえがあり、その位置が、適正ポジションになります。
●シフトグリップを軽いギヤへ一気に変速させるとアウターケーシングがシフトグリップから飛び出す場合があります。変速が終わると元に戻りますので機能への影響はありません。

お願い

●変速操作は、よく練習してください。
●シフトグリップを無理に回す変速はしないでください。
（変速機を傷める原因になります。）
●変速するときは、足を止めるか踏む力を抜いてください。

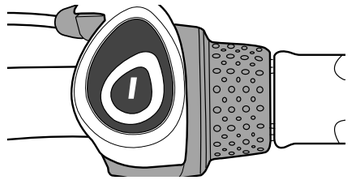
■変速機の上手な使いかた

（標準的な変速位置を示していますが、自分の体調や脚力に合わせ、適切な変速位置をお選びください。）

乗るまえに

発進するとき

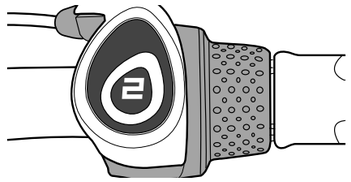
1 の位置に合わせる。



●前後左右の安全を確認してから発進する。

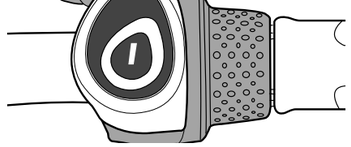
平地を走るとき

2 の位置に合わせる。



上り坂のとき

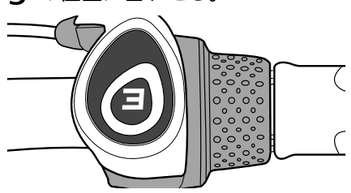
坂の手前で…
1 の位置に合わせる。



●急な坂道のとき
⇒降りて押す。

下り坂のとき

坂の手前で…
3 の位置に合わせる。



●急な坂道のとき
⇒降りて押す。

停止するとき

停止する手前で…
1 の位置に合わせる。

次の発進が楽になります。
●後ブレーキを先にかける。

正しい取り扱い方法(5)

わからないときは、販売店にご相談ください。

■チャイルドシートのご使用について

お知らせ

●前車輪旋回抑制機構（くるピタ）が装着されていますので、リヤキャリヤ取り付け式チャイルドシートだけが取り付け可能です。

● B-TFW633/733 は質量別クラス 18 の『リヤキャリヤ』が標準装備されておりますので、そのままではチャイルドシートを取り付けることができません。質量別クラス 18 から質量別クラス 27 の『リヤキャリヤ』（オプション）に組み替えることで、リヤキャリヤ取付式チャイルドシートを取り付けることができます。

⚠ 警告

■チャイルドシート無しで幼児を乗せない

■幼児は 1 人しか乗せない

■チャイルドシートに幼児を乗せているときは、その場を離れない

禁止 不安定で、自転車が転倒し、幼児が落下してけがをするおそれがあります。

■質量別クラス 18 のリヤキャリヤ装着車にはチャイルドシートを取り付けない

禁止 リヤキャリヤやフレームの破損により、幼児が落下して、けがをするおそれがあります。

■使用するときは、ねじなどの緩みが無く、取り付けが確実であることを確認し､破損、変形などしたままでの使用はしない

禁止 幼児が落下して、けがをするおそれがあります。

■ハンドル取付式チャイルドシートを取り付けない

禁止 幼児の足がくるピタに当たり、不意にロックして転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

■リヤキャリヤ取付式チャイルドシートを取り付けるときはドレスガードも取り付ける（取り付けてあるか確認する）

車輪やギヤに手足を巻き込まれ、けがをするおそれがあります。

●ドレスガードが装備されていない場合は、販売店にご相談ください。

■急ブレーキ、急ハンドルは避ける

転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

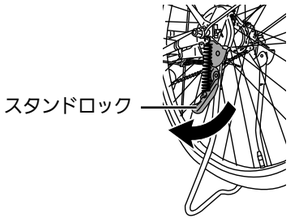
■チャイルドシートに幼児を座らせている場合、可動部に触れさせない

禁止 車輪やギヤに手足を巻き込まれ、けがをするおそれがあります。

■幼児を乗せるときは必ず靴をはかせる

幼児がけがをするおそれがあります。

■幼児の乗せ降ろしの際は、ハンドルをまっすぐにした状態で平坦な場所に駐輪し、必ずスタンドロックがかかっているか確認して行う



不安定で、自転車が転倒し、幼児が落下してけがをするおそれがあります。

■乗車および走行中は、必ず幼児にヘルメット（SG 規格適合の自転車用ヘルメットと同等以上のもの）を着用させる

幼児がけがをするおそれがあります。

●ヘルメットを着用させないでチャイルドシートに子供を乗せると、事故時に致命的な傷害を受ける確率が高くなります。着用させた場合は軽傷で済むことが報告されています。

■定員、使用年齢範囲、体重・身長制限を守る

■乗車および走行中は、必ず幼児にグリップを持たせ寝ないように留意する

■乗車および走行中は、必ず幼児にシートベルトを着用させ、正しい姿勢であることを確認する

幼児が落下して、けがをするおそれがあります。

⚠ 警告

■幼児は荷物などよりも後に乗せ、最初に降ろすこと

不安定で自転車が転倒し、幼児が落下してけがをするおそれがあります。

■幼児にチャイルドシートのステップを踏み台にして乗り降りさせない

■幼児にステップおよび座面の上に立ちあがらせない

■幼児にチェーンケースやフレームを踏み台にして乗り降りさせない

禁止

ステップやチェーンケースが変形・破損したり自転車が倒れたりし、幼児がけがをするおそれがあります。

■走行中は、幼児の足が車輪に巻き込まれないよう、ステップ（足のせ部）に足部が乗っているか確認する

幼児の足が車輪に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。

■炎天下での駐輪時、チャイルドシートが熱くなっていないか確認してから幼児を乗せる

幼児がやけどするおそれがあります。

■幼児を乗せるときは、安全の確保できる場所で十分練習してから乗車する

バランスを崩したり、ブレーキの利きが悪くなったりして転倒によるけがのおそれがあります。

■リヤキャリヤ取付式チャイルドシートを取り付けるときは乗車・運転に支障の無い範囲でできる限り前寄りに取り付ける

幼児を乗せた状態での押し歩き時、スタンド操作時などでは重心が後寄りとなり、後方へ転倒して幼児がけがをするおそれがあります。また、前寄りに付けすぎると、ペダリング時にチャイルドシートに足が当たり、バランスを崩して転倒によるけがのおそれがあります。

●ハイバック式チャイルドシートでは通常タイプに比べ、特に重心が後寄りになりますので、ご注意ください。

■幼児を乗せた状態での押し歩き、スタンド操作時などの場合は必ず両手でハンドルをしっかり押さえる

幼児を乗せた状態での押し歩き時、スタンド操作時などでは重心が後寄りとなり、後方へ転倒して幼児がけがをするおそれがあります。

お知らせ

●この自転車は、幼児 2 人同乗用自転車ではありません。リヤキャリヤにチャイルドシートを取り付けることができますが、一度に乗せることができる幼児は 1 人だけです。

●取り付けが可能なチャイルドシートの種類は以下のとおりです。

リヤキャリヤ取り付け式：

リヤキャリヤには、チャイルドシートの質量と幼児の体重を合わせて 27 kg まで乗せることができます。

ただし、チャイルドシートの取扱説明書に体重制限がある場合は、チャイルドシートの取扱説明書に従ってください。

お願い

●質量別クラス 27 の『リヤキャリヤ』をご使用の際は、当社の純正オプション部品（☞34 ページ）を装着してください。

●チャイルドシートは販売店にご相談の上、当社の純正チャイルドシートをご使用ください。（当社の純正部品以外をご使用になり、不具合を生じた場合は保証の対象外となります。）

●チャイルドシートの組み付けは販売店にご相談ください。

正しい取り扱い方法(6)

わからないときは、販売店にご相談ください。

■積載条件について

⚠ 警告

■乗るまえにリヤキャリヤ締め付け部の固定を確認する

荷物やチャイルドシートなどが落下し、けがをするおそれがあります。

●リヤキャリヤに緩み・ガタなどの異常が確認されたときは、ご販売店にご相談ください。

■荷物を積むときは、リヤリフレクターが隠れないように積載する

事故によるけがのおそれがあります。

■積載条件を超えない荷物でも、通常より重い荷物を積載するときは、安全の確保できる場所で、十分練習してから乗車する

バランスを崩し、ブレーキの利きが悪くなり、転倒によるけがのおそれがあります。

■荷物が確実に固定されていることを確認する

ひもやベルトが後車輪に巻き込んで、転倒によるけがのおそれがあります。

■積載条件から外れる荷物を積まない

禁止

リヤキャリヤやフレームが破損し、転倒によるけがのおそれがあります。

■リヤキャリヤを変造および改造はしない

禁止

部品が破損し、外れて転倒によるけがのおそれがあります。

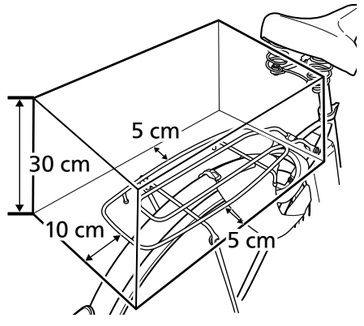
■指定されたクラスを超えるキャリヤを取り付けない

禁止

規格を超える積載により、フレームが破損し、キャリヤの脱落により、転倒によるけがのおそれがあります。

〈積載条件〉

	最大積載質量		積載物の大きさ限度
バスケット	3 kg まで		バスケットにおさまる大きさ (前方が見やすい高さまで)
リヤキャリヤ	27 kg まで(クラス表示 27) 〈MWJW(標準装備リヤキャリヤ)〉 〈TFW(別売オプション装着時)〉	18 kg まで(クラス表示 18) 〈TFW(標準装備リヤキャリヤ)〉	幅　：リヤキャリヤの幅プラス 10cm まで 長さ：リヤキャリヤの長さプラス 10cm まで 高さ：リヤキャリヤから 30cm まで (☞ 下図)
	前後合わせて 30 kg まで	前後合わせて 21 kg まで	
	チャイルドシートの質量と幼児の体重を合わせて 30 kg まで乗せることができます。 ただし、チャイルドシートの取扱説明書に体重制限がある場合は、チャイルドシートの取扱説明書に従ってください。	チャイルドシートは装着できません。	



お願い

●リヤキャリヤが標準装備されています。リヤバスケットの取扱説明書に最大積載質量の記載がある場合は、リヤバスケットの取扱説明書に従ってください。

●荷物の運搬には、バスケットおよびリヤキャリヤ以外は使用しないでください。

●最大積載質量以上の荷物を積まないでください。劣化度合が大きくなり、場合によってはバスケット、リヤキャリヤ、フレームなどが破損するおそれがあります。

●リヤキャリヤを交換される場合は、当社純正品 NCR1477(TFW633) ,NCR1478(TFW733) ,NCR1481(MWJW738) をご使用ください。当社の純正部品以外をご使用になり、不具合が生じた場合は、保証の対象外になります。(純正以外の部品を取り付けられた場合、強度の不足や、シートピンのねじ長さ不足によるシートピンの破損、操縦性の低下による転倒のおそれがあります)

お知らせ

●容量の大きいバスケットやリヤキャリヤに交換しても最大積載質量は同じです (当社指定オプション部品の使用に限り、最大積載質量は増加します)。

お手入れ／注油について

お 手 入 れ

■日常のお手入れ

●乾いた布やブラシで、泥や土、ほこりを落としてください。
●がんこな汚れには、台所用洗剤（中性）を薄めてご使用ください。

■汚れがひどいとき

●水洗いし乾燥したあと、各部に注油してください。
●注油禁止場所には注油しないでください。（☞ 29 ページ）

■ステンレス部品

●ステンレスはさびにくい金属ですが、使用条件や環境によってさびることがあります。下記の点にご注意の上ご使用ください。
　○ステンレスに付着した鉄粉などが、さびることによって「もらいさび」が発生しますので、お手入れを頻繁に行ってください。（例：鉄道や鉄工所の近辺での保管車、後車輪周りのステンレス部品など）
　○ステンレスは塩素にも弱く、さびることがあります。塩分や塩素系の洗浄剤が付着したときは、乾いたあとでもさびが発生しますので、水を含んだ布などでしっかりふき取ってください。

■塗装部（フレーム体など）

●乾いた布でよく磨き、自動車用のワックスをかけ、乾いた布でふき取ってください。

■樹脂部（チェーンケースなど）

●乾いた布でほこりをとってください。

■めっき部（スタンドなど）

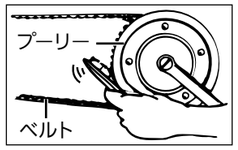
●乾いた布でよくふいたあと、「さび止め油」か「ミシン油」でふき、余分な油をふき取ってください。

■次のような場所では、

〈湿気の多い場所・海岸沿い・工場地域・エアコンの室外機のそば・自動車の排気ガスのかかる所・鉄道の線路際など〉

●さびやすいので、お手入れの回数を、多くしてください。

■ベルトドライブシステム部（ベルト、プーリーなど）〈TFW〉



●歯ブラシや棒切れのようなもので、目づまりを取り除くか、水で洗い流してください。
●降雪中に野外駐輪した場合、ベルトやプーリーの歯に付いた雪を取り除いてからご使用ください。凍りついている場合は、ぬるま湯か水をかけて溶かしてください。夜間放置の場合、ベルトに付いた雪や雨水が、凍結するおそれがあるときは、ギヤクランクを逆回転させて、ベルトやプーリーの水切りを行ってください。

お願い

●シンナー・ベンジンなどの有機溶剤、ガソリンなどの石油類薬品、酸性・アルカリ性の洗剤などは使用しないでください。（塗装がはげたり、樹脂製部品が浸食されたりします。）
●サドルには、ワックスをかけないでください。（座ったとき衣服が汚れたり、滑ったりします。）

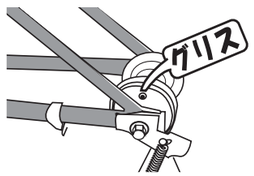
注 油 に つ い て

⚠ 警告

■リムやブレーキブロック（ゴム部）には、油脂類を付けない

禁止

■ブレーキグリスの補給には、ローラーブレーキ専用グリスを使用する



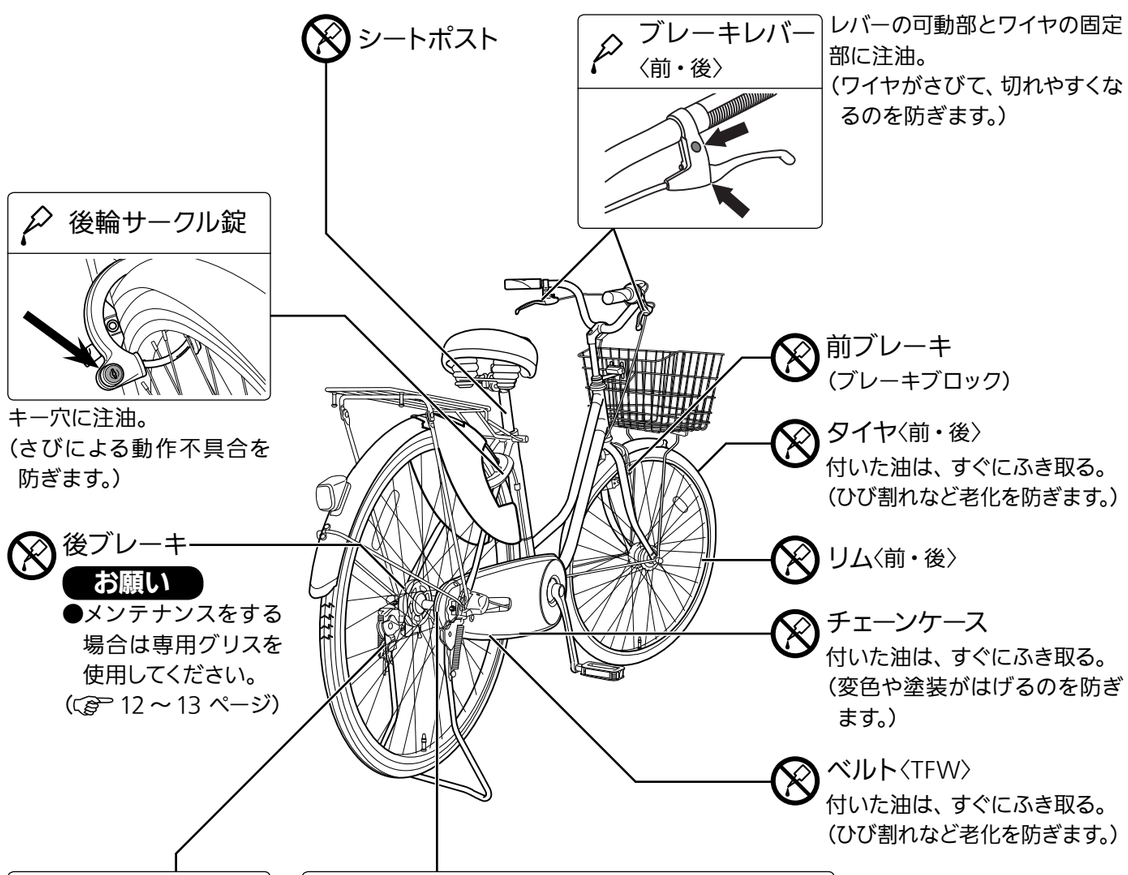
ブレーキが利かなくなり、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

注油場所と注油禁止場所

このマークは、注油場所を示します。　このマークは、注油禁止場所を示します。

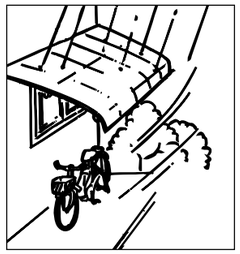
お願い

●油の種類は、必ず、自転車用油を使用してください。（食用油などは、硬化するおそれがあります。）
●余分な油は、乾いた布でふき取ってください。
●オプション部品についても、同様のメンテナンスをお願いします。



保管／廃棄／運搬

保 管 ／ 廃 棄



■ 保管場所は、

●安定のよい所、直射日光が当たりにくい所、雨がかかりにくい場所に保管してください。
●雨がかかる所では、市販の「サイクルカバー」のご使用をお勧めします。
※長期保管後、再使用される場合は、販売店で点検・調整の上、ご使用ください。

■廃棄するときは、

●自転車を廃棄するときは、お住まいの地域のルールに従ってください。

■タイヤの管理

●空気を適正空気圧まで入れてください。（☞ 15 ページ）

運 搬

⚠ 注意

■サドルを持ち上げて移動させない

禁止

サドルバネやベースが破損し、けがをするおそれがあります。

定 期 点 検

定 期 点 検

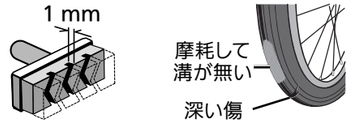
⚠ 警告

■定期点検は、必ず実施する

異常や故障の発見がおくれ事故発生によるけがのおそれがあります。

■部品の交換は、次の基準で実施する

●ブレーキワイヤ・変速ワイヤは、異常が無くても 2 年に 1 回は、交換する。
●タイヤは、接地面（トレッド）の溝がなくなるまえに交換する。
●ブレーキブロックは、溝の残りが、1 mm になるまえに交換する。
●ブレーキブロックは、リムにあった純正ブレーキブロックに交換する。



ブレーキが利かなくなり、スリップのため転倒によるけがのおそれがあります。

点検と整備は、自転車の大切な健康診断です。
いつまでも安全にお乗りいただくために、ご使用後初めての初回（2 か月以内）点検と、6 か月ごとの定期点検の実施をお願いします。（裏表紙の点検・整備チェックリストにて実施をお願いします。）

●初回（2 か月以内）の点検と整備

お買い上げ 2 か月ぐらいのご使用で、各部にねじの緩みが出ることがあります。
必ず、お買い求めの販売店または修理代行店で、自転車安全整備士、自転車技士（自転車組立整備士）、もしくは同等の技術を有する者により点検・整備をお受けください。

● 2 回目以降（6 か月ごと）の点検と整備

安全にご愛用いただくため、必ず継続してお受けください。

盗難補償

盗難補償

ガチャリンコ、ガチガチロック、ツインロック盗難補償制度は、ご購入日より 3 年以内に盗難にあわれた場合、事務手数料のご負担で、盗難車と同タイプの新車をお渡しする制度です。ガチャリンコ、ガチガチロックまたは、ツインロックシリーズをお買い上げいただいたお客様が対象です。※ 手数料には消費税は含まれておりません

ご購入時、CLUB Panasonic にてご愛用者登録をいただくか、ご愛用者登録はがきに必要事項をご記入の上、パナソニック サイクルテック愛用者登録係にご返送いただいたお客様に限り、次の内容により盗難補償が受けられます。

(1) 盗難補償の期間と範囲

お買い上げの日から 3 年間以内の自転車(別売部品などを含む装着部品の盗難は除く) かつ、盗難日より 90 日以内に申し込みいただいた場合に限ります。

(2) 盗難補償の申し込み要領

万一、盗難にあわれたときは、お買い上げの販売店へ以下のものを添えてお申し込みください。追って、販売店から新車をお渡しします。

- ●自転車保証書
- ●盗難車のキー(スペアを含む 3 本)
- ●手数料 2,857 円(税抜)　2014 年 3 月現在
  ※手数料には消費税は含まれておりません
- ●盗難にあった地区の警察署から交付を受けた証明になるもの(警察受理ナンバーまたは盗難届出証明書など)

(3) 盗難補償できない場合

①施錠せず盗難にあった場合
② (2) の書類がそろわない場合
③補償期間が過ぎている場合
④盗難補償車が、再度、盗難にあった場合
⑤防犯登録がされてない場合
⑥盗難車が見つかり、返ってきた場合
⑦景品などの贈呈品の場合
⑧愛用者登録をされていない場合

ご注意

- ●生産などの都合で、同タイプの自転車をお届けできない場合がありますことをご了承願います。
- ●新車をお渡しした時点より、盗難車の所有権は弊社に帰属します。

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

お宅の家電情報をまとめて登録管理! エンジョイポイントをためてプレゼントに応募!

PC http://club.panasonic.jp/
携帯 http://mobile.club.panasonic.jp/

※ご愛用者登録には、CLUB Panasonic 会員への登録が必要です。
※登録時は、商品の品番を事前にご確認ください。
※このサービスは WEB 限定のサービスです。

必要なとき

自転車安全基準/BAAマーク/アフターサービス

この自転車は(一社) 自転車協会が定めた自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車です。

自転車安全基準

(一社) 自転車協会が消費者の安全第一と環境負荷の低減を目的として定めた基準です。
JIS(日本工業規格) をベースに、EN(ヨーロッパ規格) など海外の規格やヨーロッパの環境負荷物質に関する規制(RoHS 指令) に基づいています。

BAAマーク

「BAA マーク」は、自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車に、貼ることができるマークです。
「BAA マーク」は、自転車の立パイプに貼り付けられています。
※ BAA= 自転車協会認証 -BICYCLE ASSOCIATION (JAPAN) APPROVED

アフターサービス(修理を依頼されるとき)

自転車が故障したときは、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

●保証期間中は、 ▶	●保証対象かどうか(無償修理か有償修理か) は、お買い上げの販売店で自転車と品質保証書の内容を確認した上で、判断させていただきます。 ●インターネットなど通信販売でお買い上げの場合も、まず販売店にご相談ください。出張修理や補修部品の直接販売は弊社では行っていません。
●保証期間が過ぎたあとは、 ▶	お買い上げの販売店にご相談ください。

※補修用性能部品の保有期間　6 年

当社は、この自転車の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品) を製造打ち切り後、6 年保有しています。

必要なとき

オプション 別売部品

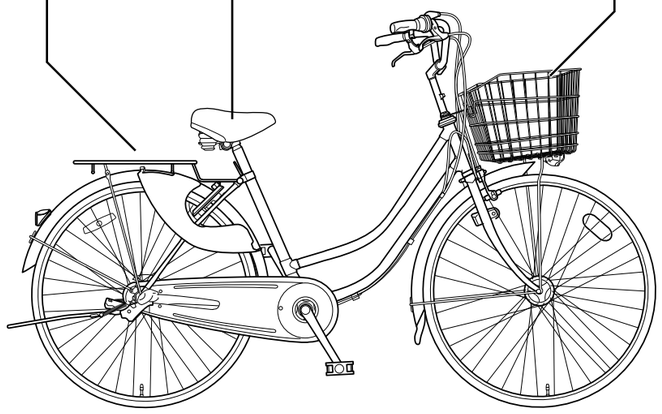
取り付けのポイント

●安全にご乗車いただくため、必ず当社の純正部品をご使用ください。
（当社の純正部品以外をご使用になり、不具合が生じた場合は、保証の対象外になります。）
●オプション部品の品番は都合により変更することがありますので、取り付けの際に、販売店にご確認ください。
（掲載している品番は 2013 年 10 月 現在のものです。）
●価格など詳細については、販売店にご相談ください。

リヤキャリヤ（ステンレス製、クラス 27）〈TFW〉
TFW633：NCR1479　　TFW733：NCR1480
※積載条件については（☞ 26 ～27 ページ）

直付サドル
NSS2221S　ブラック
※サドル高さを通常より下げることができます。

大型メッシュバスケット
NCB1299H　グレー



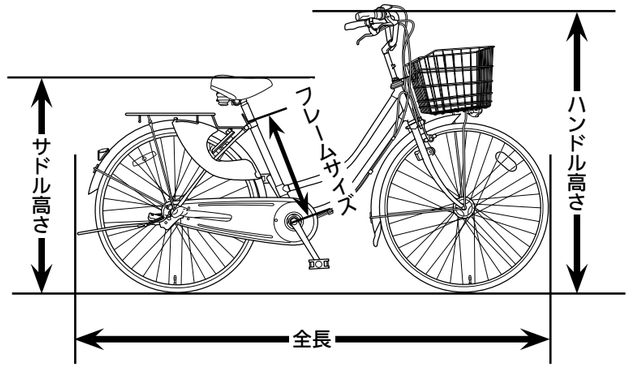
ファッションキーキャップ
NAE481

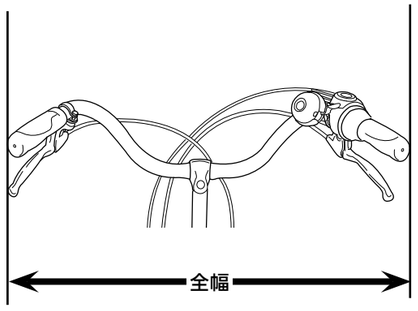
仕　様

車種品番	B-MWJW738	B-TFW633	B-TFW733
フレームサイズ（mm）	430	390	400
全　長　（mm）	1,880	1,805	1,865
全　幅　（mm）	585		
ハンドル高さ　（mm）	1,090 ～ 1,135	1,030 ～ 1,075	1,070 ～ 1,115
サドル高さ　（mm）	815 ～ 970	775 ～ 930	790 ～ 945
タ　イ　ヤ	27 × 1 1/2 WO	26 × 1 3/8 WO	27 × 1 3/8 WO
質　量　（kg）	25.6	23.5	24.0
適応身長	148 cm 以上	141 cm 以上	144 cm 以上

●乗車適応身長は片足がペダルに乗っているとき、もう片方のつま先が地面に着地できる身長を指します。
（☞p.4 ■乗るまえに）
●乗車適応身長は、個人差がありますので、目安としてください。
●寸法や質量は、部品のばらつきや仕様変更などにより、誤差が生じる場合があります。
●この車種は、乗員体重を 65 kg（MWJW だけ 90 kg）で基本設計しています。従って、著しくオーバーした体重の方が常用された場合は、消耗度合、劣化度合が大きくなります。

■寸法について





～メモ～

使いかた・お手入れ・修理などは **まず、お買い上げの販売店へ** ご相談ください。

パナソニック 総合お客様サポートサイト	商品に関する、**お客様ご相談窓口** 365日 受付9時～20時
http://www.panasonic.com/jp/support/	電話 フリーダイヤル **0120-781-603** ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
	■上記番号がご利用いただけない場合 **(072) 977-1603**（有料ダイヤル）

※ご使用の回線（ひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

■取扱店や展示店のご紹介など、販売店に関するご相談は、お住まい近くの支店相談窓口が承ります。下記地域外のお客様は、フリーダイヤルへおかけください。

●各地域の支店相談窓口（営業時間／9:00 ～ 17:00）土・日・祝日・弊社指定の休日を除く

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

※所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

東北地区（青森・岩手・福島・宮城）
東日本支店 (022) 382-7791

埼玉・群馬・栃木・茨城・新潟地区
東日本支店 (048) 723-5131

東京・千葉・神奈川・山梨地区
首都圏支店 (042) 490-5545

中部・東海地区（愛知・静岡・岐阜）
中部支店 (0587) 54-4111

近畿地区（大阪・兵庫・奈良）
近畿支店 (072) 975-4100

中国地区（広島・岡山・山口）
中国支店 (082) 870-7776

九州地区
九州支店 (092) 671-8648

愛情点検　定期点検をし、安全走行をしましょう！

こんな症状はありませんか	●異常な音がする ●がたつきや緩み ●車輪の振れ ●ブレーキの利きが悪い	▶	ご使用中止	事故防止のため、必ず販売店に点検、整備を依頼してください。

便利メモ（覚えのため、記入されると便利です。）

販売店名	
お買い上げ日	年　月　日
電話	(　　)　－
品番	
車体番号	
キー番号	
防犯登録番号	

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック サイクルテック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。